

鶴が丘 だより

50周年企画

ユニット・リレー⑫
相談室 編

相談室副主任 高木麗

◎ 著者紹介

鶴が丘に入職して15年が経ちました。以前は美術を学んでいましたが、福祉の道に進みたくさんの患者様や職員に出会いました。生きることの大変さ、面白さ、複雑さ、様々なことを学んでいます。ちなみに絵はへた、ひび鑑賞する派です。ので、絵のリクエストはご遠慮下さい。



I. 「相談室」の紹介
こんな仕事をしています

相談室は外来や入院相談の、最初の窓口です。不調や不安を抱えた患者様やご家族のご負担が軽減できるよう、丁寧な対応を心がけています。また、病気のこ
とだけでなく生活の中での
お困り事、経済的なご心配、
住居や居場所等のご相談も
受け付けています。入院中
の患者様の退院支援にも取
り組んでいます。
これは誰に相談すれば
いいのかな?と迷ったり、
まずは相談室にお声掛け下
さい!

II. アピールポイント 私の部署自慢

相談室のスタッフは精神保健福祉士という資格を持つ
ており、フレキシブルな新
人から勤続50年の大ベテラ
ンまで、7名が勤務してい
ます。
病院の中では唯一の福祉
職であり、患者様を医療だ
けではなく、皆同じ社会で

生きる生活者として捉えて
います。患者様それぞれ
目指すゴールまで伴走させ
てもらえる、素敵な仕事で
す。

III. これからの取組み 次の50年に向けて

入院治療から外来治療へ、
そして地域への生活へと叫
ばれ続けていますが、まだ
まだ実現したとは言いがた
いのが現実です。どのような
障害や病気があっても社会
で、地域で生活するのが当
たり前の社会を目指し、退
院や生活の支援を行います。



IV. 次回の部署紹介 したすきを繋ぎます

ドラッグストアや近隣の
薬局など、身近な場所での薬
剤師が活躍しています。次
のページでは、チーム医療
の役割を持つ、院内薬剤師
を紹介します。

ある日の
鶴が丘

1年間
ありがとう
ございました

今年度も、鶴が丘だ
よりの発行やホーム
ページブログの更新
を通じて、院内外の
様々な情報を発信し
て来ました。
新年度を迎えるにあ
たり、より身近で、
親しみやすい編集活
動を行って参ります。

2021年度
編集委員会 同



薬局編

ユニット・リレー⑬

薬局長 田原 美恵

◎著者紹介

ドラッグストアに11年、調剤薬局に2年弱勤めた後に、精神疾患の勉強をしたくて入職し、今年で16年になります。

仕事を離れると、高枝生と中学生の娘の2児の母、保護猫4匹の母として振り回される日々です。

患者さんの笑顔が増えるように薬を介して仕事しています。



I.「薬局」の紹介

入院患者様の調剤はもとより、入院される患者様が持参した薬を鑑別し、飲み合わせや投与量の確認をしております。また、チーム医療の一員として各種プログラムの参加しております。



II. アピールポイント

入院患者様が適切に薬の服用ができるよう、薬を一覧化しております。

電子カルテ導入により、処方箋図や患者背景の確認をしながら、処方された薬の量や飲み合わせを鑑別し、病棟へ払い出ししています。患者様が安全にかつ安心して服用いただけるよう、確認作業等を慎重に行い、手間を惜しまず職務を全うしております。

また、個別の服薬指導や病棟やデイケア、家族心理教育プログラム等にも参加し、薬の知識の普及や啓発も行っています。医師や看護師と異なる立ち位置から、患者様の薬に

対する不安が少なくなりました。取り組んでいます。

顔見知りになり、患者様が近況報告に薬局へお越しいたがることも増え、改めて「アットホームな雰囲気」の病院だからこそと感じています。

III. これからの取組み

病院で働く薬剤師は、他の職種の方々とチームで働いています。

患者様が日常生活を笑顔で自分らしく暮らせるように他の職種の方々とスクラムを組め、薬についての知識を伝えられるように応援し続けていきます。また、地域で生活していく患者様を見守る調剤薬局の薬剤師とも顔の見える関係となり、病気にまついての知識や理解対応などの情報を発信できるような関係も今後必要になると感じています。

今月の...

いろはカルタ

ル(る) 違反は
ひとりよがりから

教(を) わる前に
ひと工夫

お知らせ

令和4年度診療報酬改定に伴い、4月1日より会計時のお支払額が変更となります。何卒、ご了承ください。

医療法人社団 鶴永会

鶴が丘ガーデンホスピタル
TEL:044-988-3121
東京都町田市三輪緑山2-2133-1
長津田いこいの森診療所
TEL:045-507-7656
神奈川県横浜市緑区長津田4-11-14